

第1章 JNTO統計

(JNTO基準による日本の国際会議の開催状況)

本章で使用する「JNTO国際会議統計」について	2
1. 年別国際会議の開催状況（開催件数、参加者数、開催延べ日数）	3
2. 規模別国際会議の開催状況①（開催件数、平均外国人参加者数）	4
3. 規模別国際会議の開催状況②（中・大型国際会議の開催件数、外国人参加者数）	5
4. 分野別国 会議の開催状況（開催件数、外国人参加者数）	6
5. 月別国際会議の開催状況①（開催件数）	7
6. 月別国際会議の開催状況②（外国人参加者数）	8
7. 都市別国際会議の開催状況（外国人参加者数、参加者総数、開催件数）	9
8. 会場別国際会議の開催状況（開催件数、参加者数）	10

本章で使用する「JNTO国際会議統計」について

本章は、日本政府観光局（JNTO）が、全国の自治体やコンベンション・ビューロー、府省庁などのご協力を得て国際会議の開催情報を収集し、そのデータを集計・分析したもので、日本で開催された国際会議の概要を把握する指標となっています。なお、本章のデータは、以下の選定基準に基づいて集計しています。

国際会議の選定基準

対象とするもの

*以下の①～④を全て満たす国際会議を、「国際会議」とします。

- ① 主催者：「国際機関・国際団体（各国支部を含む）」又は「国家機関・国内団体」（各々の定義が明確ではないため、「公共色を帯びていない民間企業」以外は全て。）
- ② 参加者総数：50名以上
- ③ 参加国数：日本を含む3居住国・地域以上
- ④ 開催期間：1日以上

対象にならないもの

1. 開催目的：主催団体による営利活動や内部活動としての会合や集会
 - 営利活動を目的とするもの
例：企業内会議、商談、勧誘・宣伝活動（投資セミナー、観光セミナー、留学支援セミナー）
 - 主催団体の内部活動
例：教育機関がカリキュラムの一環として行う授業や講義、カルチャースクール等の教育文化活動プログラム、団体内の研修会、宗教団体の儀式・集会・勧誘
2. 開催の様態：会議や講演会の実態がない会合や集会
 - 興行上のサービス
例：コンサート、映画上映会、舞台挨拶 ※付随するトークショーも興行上のサービスとみなします。
 - 単なるセレモニー
例：開会・閉会式、〇〇周年記念式典
 - 上位会議の分科会
例：学会開催時における個別の分科会、大規模フォーラムの個別セッション
 - 単なるイベント
例：展示会、スポーツ大会、国際交流パーティー
3. その他：以下の情報が不足している会議
 - 「参加国数」、「国内参加者数」、「海外居住外国人参加者数」の内訳（「展示会が主体となっており、その中に組み込まれている会議」においては、展示会全体ではなく会議そのものの上記情報）
 - 一般に公開されているセミナー、シンポジウム、討論会のうち、海外に居住する講師や参加者を招聘・募集したことを示す資料

国際会議参加者の取り扱い

- 外国人参加者数には、国際会議の出席を目的に来日した会議代表、オブザーバー、同伴家族を含みます。但し、報道関係者、在日外国人（留学生を含む）は含みません。

国際会議開催日数の取り扱い

- 国際会議開催日数には、会議の前後または合間の日に開催されるレセプション、視察旅行、観光旅行を含めず、純粋な会議日数のみを計上しています。

1

年別 国際会議の開催状況 (開催件数、参加者数、開催延べ日数)

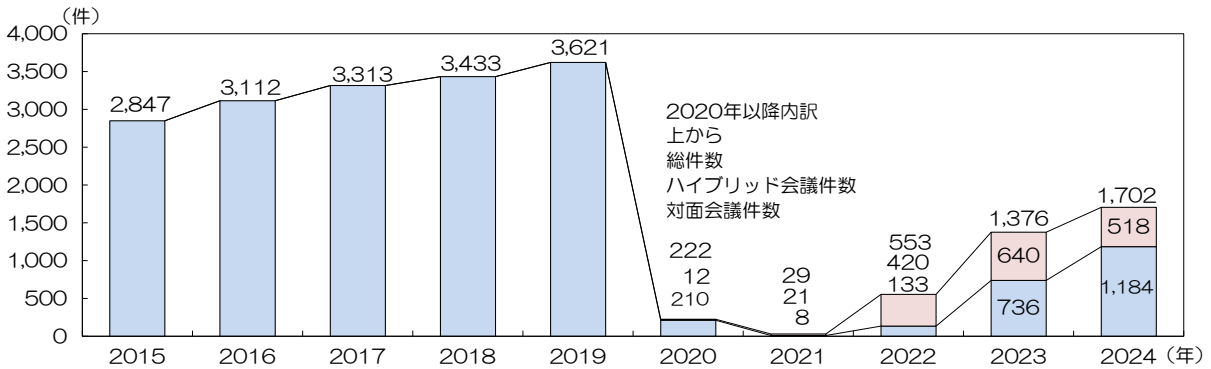
ー 開催件数、参加者数ともに前年の1.2倍に拡大 ー

2024年に日本で開催された国際会議の件数は、前年の1.2倍の1,702件となった。対面で開催された会議の件数は前年の1.6倍の1,184件と増加した一方で、対面とオンラインを併用したハイブリッド形式の国際会議の開催件数は518件と前年の8割程度まで減少しており、対面で開催された国際会議の占める割合が前年以上に拡大した。参加者総数は前年の1.2倍の124.1万人、そのうち国内参加者数は前年の1.2倍の108.2万人、外国人参加者(海外居住者)数は前年の1.2倍の15.9万人となり、伸び率

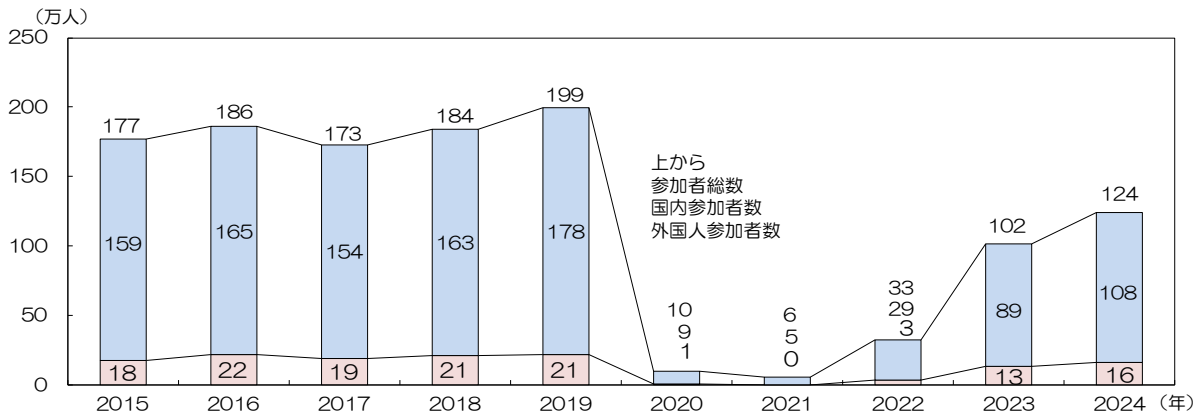
は外国人参加者数と国内参加者数が同水準であった。2019年比では、開催件数は47.0%、参加者総数は62.2%、外国人参加者数は74.5%まで回復した。

国際会議の開催延べ日数は前年の1.3倍の5,200日となり、2019年比で6割程度まで回復した。1件あたりの平均開催日数は3.06日となり、前年に続き、2019年以前と比較すると長い傾向が見られた。

図表1-1 年別 国際会議の開催件数及びハイブリッド会議開催件数 (2015年~2024年)

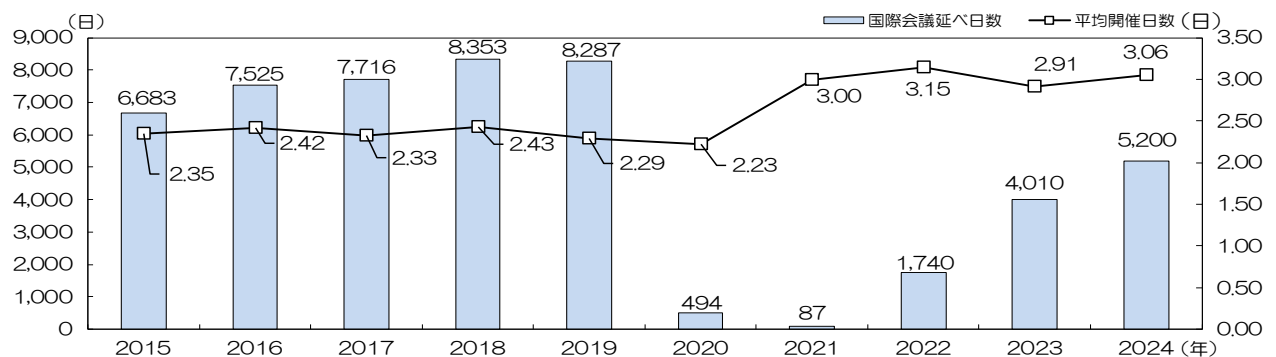


図表1-2 年別 国際会議の参加者数 (2015年~2024年)



	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年
参加者総数	1,766,798	1,862,020	1,725,927	1,839,694	1,993,790	96,271	55,221	325,752	1,016,813	1,241,049
国内参加者数	1,591,765	1,645,998	1,539,279	1,630,097	1,780,396	89,668	54,471	291,965	887,440	1,082,115
外国人参加者数	175,033	216,022	186,648	209,597	213,394	6,603	750	33,787	129,373	158,934

図表1-3 年別 国際会議の開催延べ日数、平均開催日数 (2015年~2024年)



[図表1-2] 注: 会議以外の要素が含まれている国際会議(展示会主体の併設会議など)に関しては、会議部分の参加者数を計上している。

2

規模別 国際会議の開催状況① (開催件数、平均外国人参加者数)

— 規模の大きな会議の割合が2019年を上回る一方、小規模の会議が前年比で特に増加 —

2024年に開催された国際会議を規模別に見ると、参加者総数200人未満の会議が922件で全体の半数以上を占め、中でも100人未満の会議が最多の498件となった。一方で、1,000人以上の会議は264件と前年比で12.3%増となり、2019年比では65.2%まで回復した。また、構成比では、200人未満の会議が54.2%を占めたが、2019年(61.1%)と比較すると、割合が低くなっている。一方、1,000人以上の規模の大きな会議は

全体の15.5%を占め、2019年(11.2%)から構成比が拡大しているが、前年からの件数の増加率では200人未満の会議が30.6%増と特に高く、規模の比較的小さい会議の回復が2024年にはより進んだとみられる。

全会議における会議1件あたりの平均外国人参加者数は93人と、前年と同水準となり、2019年の59人を大幅に上回る。

図表1-4 規模別 国際会議の開催件数(2015年~2024年)、平均外国人参加者数(2024年)

上段：開催件数、下段：構成比(%)

参加者総数	開催件数										2024年 1件あたりの平均 外国人参加者数
	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	
100人未満	850 (29.9)	980 (31.5)	1,170 (35.3)	1,176 (34.3)	1,302 (36.0)	88 (39.6)	4 (13.8)	168 (30.4)	378 (27.5)	498 (29.3)	24
100~199人	743 (26.1)	813 (26.1)	859 (25.9)	834 (24.3)	912 (25.2)	60 (27.0)	4 (13.8)	130 (23.5)	328 (23.8)	424 (24.9)	48
200~299人	334 (11.7)	389 (12.5)	380 (11.5)	386 (11.2)	364 (10.1)	22 (9.9)	4 (13.8)	58 (10.5)	141 (10.2)	198 (11.6)	68
300~399人	184 (6.5)	203 (6.5)	181 (5.5)	216 (6.3)	217 (6.0)	14 (6.3)	2 (6.9)	43 (7.8)	91 (6.6)	106 (6.2)	104
400~499人	114 (4.0)	116 (3.7)	109 (3.3)	121 (3.5)	116 (3.2)	5 (2.3)	1 (3.4)	22 (4.0)	66 (4.8)	59 (3.5)	120
500~799人	196 (6.9)	203 (6.5)	176 (5.3)	220 (6.4)	232 (6.4)	12 (5.4)	4 (13.8)	43 (7.8)	105 (7.6)	114 (6.7)	151
800~999人	64 (2.2)	61 (2.0)	64 (1.9)	79 (2.3)	73 (2.0)	3 (1.4)	1 (3.4)	13 (2.4)	32 (2.3)	39 (2.3)	182
1,000~1,499人	83 (2.9)	88 (2.8)	127 (3.8)	138 (4.0)	117 (3.2)	7 (3.2)	2 (6.9)	23 (4.2)	72 (5.2)	59 (3.5)	184
1,500~1,999人	61 (2.1)	55 (1.8)	51 (1.5)	53 (1.5)	76 (2.1)	0 (0.0)	2 (6.9)	10 (1.8)	38 (2.8)	50 (2.9)	177
2,000~2,999人	71 (2.5)	63 (2.0)	63 (1.9)	82 (2.4)	75 (2.1)	6 (2.7)	1 (3.4)	15 (2.7)	43 (3.1)	53 (3.1)	146
3,000~4,999人	71 (2.5)	58 (1.9)	60 (1.8)	54 (1.6)	60 (1.7)	3 (1.4)	3 (10.3)	20 (3.6)	43 (3.1)	44 (2.6)	156
5,000~9,999人	61 (2.1)	60 (1.9)	60 (1.8)	59 (1.7)	60 (1.7)	1 (0.5)	0 (0.0)	7 (1.3)	27 (2.0)	47 (2.8)	464
10,000人以上	15 (0.5)	23 (0.7)	13 (0.4)	15 (0.4)	17 (0.5)	1 (0.5)	1 (3.4)	1 (0.2)	12 (0.9)	11 (0.6)	1,331
合計	2,847	3,112	3,313	3,433	3,621	222	29	553	1,376	1,702	93

[図表1-4]注：会議以外の要素が含まれている国際会議(展示会主体の併設会議など)に関しては、会議部分の参加者数を計上している。

注：構成比は四捨五入して小数点1位までを表示しているため、各構成比の合計は必ずしも100にはならない。

3

規模別 国際会議の開催状況② (中・大型国際会議の開催件数、外国人参加者数)

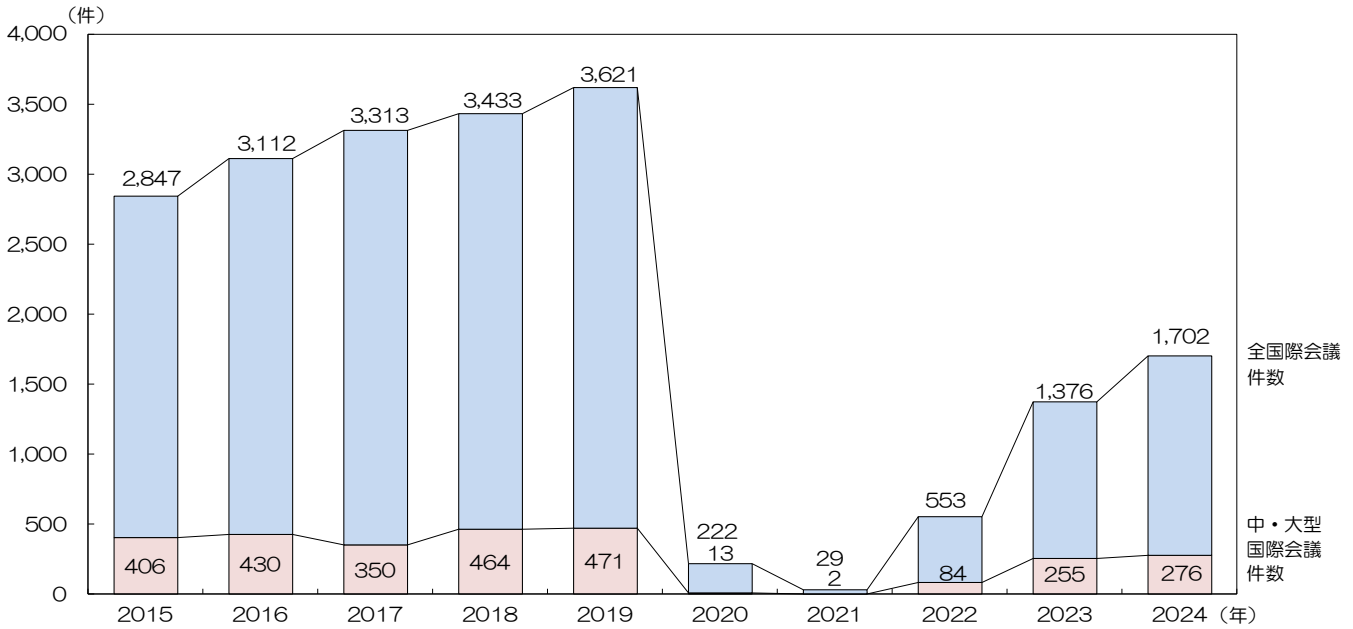
— 中・大型国際会議はシェアが2割未満の中、外国人参加者数は回復が先行 —

2024年の中・大型国際会議(※)の開催件数は前年の1.1倍の276件となった。2019年比では、58.6%となり、全国国際会議の件数の2019年比(47.0%)を上回った。また、中・大型国際会議の全件数に占める割合は16.2%で、前年に比べ割合はやや減少したものの、2019年以前との比較では引き続き高い傾向にある。

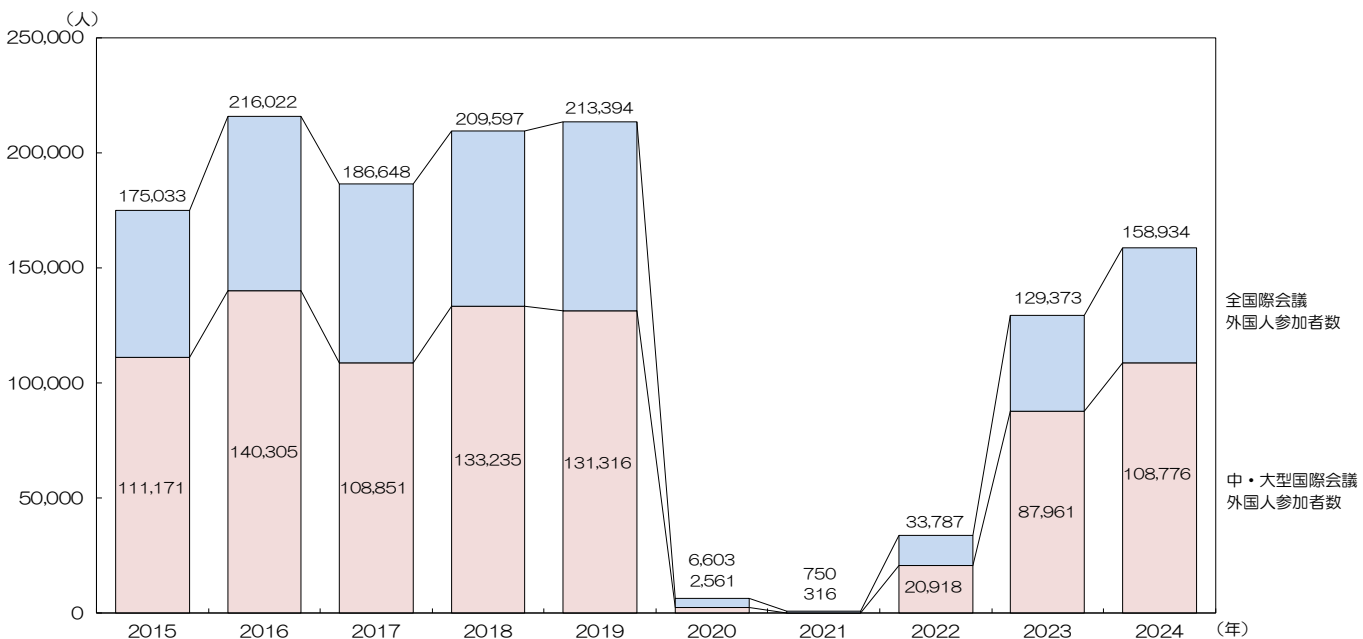
中・大型国際会議の外国人参加者数は前年の1.2倍の108,776人となり、全国国際会議の外国人参加者数の68.4%を占めた。2019年比では82.8%と、全国国際会議における外国人参加者数(74.8%)の回復率を上回っており、回復が先行していることが分かる。(都市別 中・大型国際会議開催件数は「資料編 2」参照)

※中・大型国際会議：外国人参加者数50人以上、および参加者総数300人以上

図表1-5 国際会議の開催件数と中・大型国際会議の開催件数(2015年~2024年)



図表1-6 国際会議の外国人参加者数と中・大型国際会議の外国人参加者数(2015年~2024年)



[図表1-6]注：会議以外の要素が含まれている国際会議(展示会主体の併設会議など)に関しては、会議部分の参加者数を計上している。

4

分野別 国際会議の開催状況 (開催件数、外国人参加者数)

— 「科学・技術・自然」と「医学」の2分野が全体の7割を占める —

2024年の分野別の国際会議の開催件数と構成比をみると、「科学・技術・自然」が868件(51.0%)と最も多く、次いで「医学」が372件(21.9%)となった。2019年と比べると、「政治・経済・法律」「芸術・文化・教育」といった文系分野の件数の回復率が比較的低い一方で、「科学・技術・自然」「医学」といった理系分野の回復が早い傾向がみられる。また、外国人参加者数では、「科学・技術・自然」が84,664人で最も多く、「医学」(33,069人)との2分野で全体の74.1%を占めている。

図表1-7 分野別 国際会議の開催件数(2015年~2024年)、構成比(2024年)

※2024年は上段：件数、下段：構成比(%)

分野	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年
政治・経済・法律	249	316	361	378	435	25	1	38	126	147 (8.6)
科学・技術・自然	1,222	1,421	1,415	1,395	1,507	108	11	281	700	868 (51.0)
医学	546	577	589	702	631	39	13	124	315	372 (21.9)
産業	128	119	124	165	163	5	0	27	32	62 (3.6)
芸術・文化・教育	337	344	396	446	481	20	1	35	98	146 (8.6)
社会	193	184	260	204	210	13	3	23	40	36 (2.1)
運輸・観光	24	14	34	28	33	4	0	5	16	21 (1.2)
社交・親善	70	72	46	47	32	2	0	2	10	3 (0.2)
宗教	7	8	9	6	11	0	0	1	3	6 (0.4)
スポーツ	19	17	29	20	37	0	0	1	6	7 (0.4)
その他	52	40	50	42	81	6	0	16	30	34 (2.0)
合計	2,847	3,112	3,313	3,433	3,621	222	29	553	1,376	1,702

図表1-8 分野別 国際会議の外国人参加者数(2015年~2024年)、構成比(2024年)

※2024年は上段：外国人参加者数、下段：構成比(%)

分野	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年
政治・経済・法律	13,472	17,803	22,547	28,255	24,403	541	250	2,608	15,277	9,370 (5.9)
科学・技術・自然	79,113	80,796	75,682	90,335	93,490	3,970	262	18,474	75,367	84,664 (53.3)
医学	35,012	48,404	40,246	43,586	35,735	481	187	5,713	23,006	33,069 (20.8)
産業	11,072	13,138	9,421	13,447	12,741	117	0	961	1,779	13,003 (8.2)
芸術・文化・教育	20,186	25,938	21,081	17,436	20,184	990	2	1,535	5,146	10,411 (6.6)
社会	6,328	7,388	8,329	5,849	5,684	242	49	3,409	2,411	1,837 (1.2)
運輸・観光	2,210	993	1,811	954	2,270	88	0	325	1,957	1,389 (0.9)
社交・親善	2,253	16,653	1,296	4,784	3,463	5	0	80	1,411	959 (0.6)
宗教	172	922	533	562	2,760	0	0	10	468	334 (0.2)
スポーツ	906	1,920	1,373	2,559	3,808	0	0	3	873	997 (0.6)
その他	4,309	2,067	4,329	1,830	8,856	169	0	669	1,678	2,901 (1.8)
合計	175,033	216,022	186,648	209,597	213,394	6,603	750	33,787	129,373	158,934

[図表1-7、1-8]注：構成比は四捨五入し小数点1位までを表示しているため、各構成比の合計は必ずしも100にはならない。

[図表1-8]注：会議以外の要素が含まれている国際会議(展示会主体の併設会議など)に関しては、会議部分の参加者数を計上している。

5

月別 国際会議の開催状況 ① (開催件数)

ー 前年に引き続き9~11月開催の会議が4割を占め最多に ー

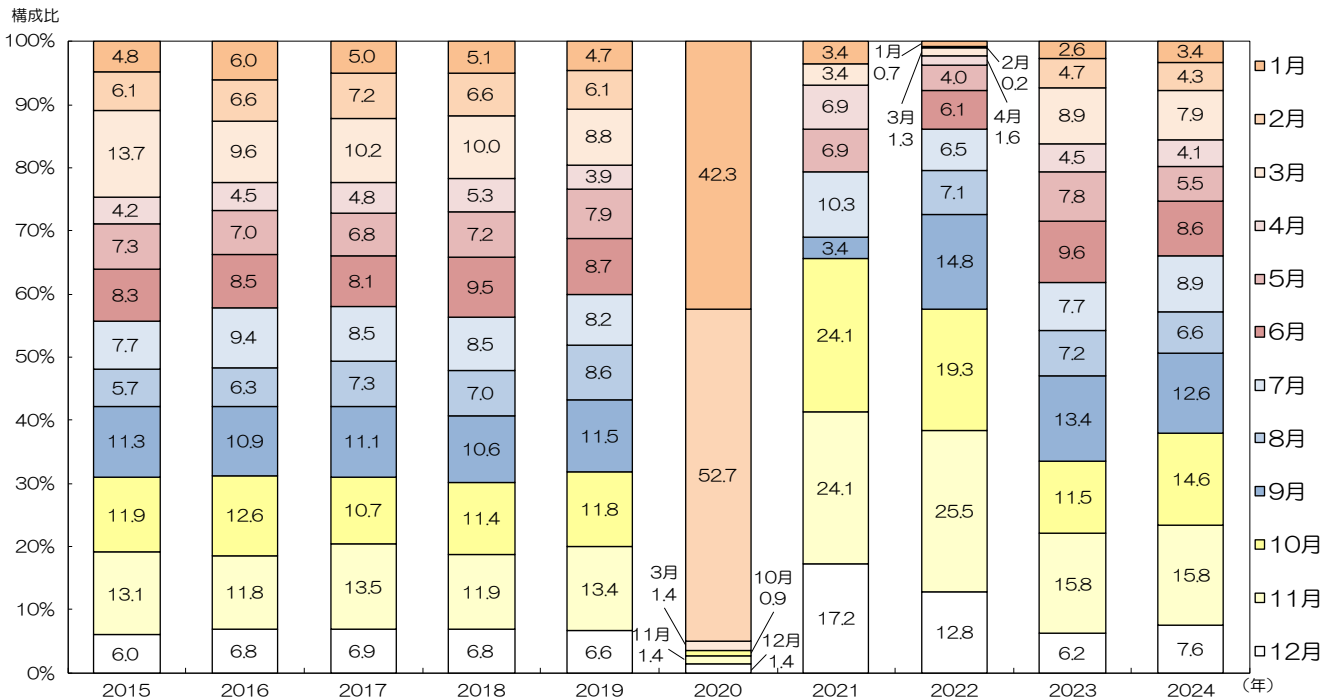
2024年の国際会議の月別開催件数は多い順に11月269件、10月249件、9月214件で、最少は1月の58件であった。従来から上半期より下半期の方が開催件数が多い傾向があり、中でも9~11月が国際会議の開催時期のピークとなっているが、

月別開催件数の構成比を見ると、2019年以前は9月~11月における開催件数の構成比が35%前後であったのに対し、2024年は43%で前年の40.8%からも増加しており、開催時期のピークシーズンにおける件数の回復が先行していることが分かる。

図表1-9 月別 国際会議の開催件数 (2015年~2024年)

	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年
1月	136	187	164	174	169	94	1	4	36	58
2月	175	205	239	228	221	117	0	1	65	73
3月	391	300	338	342	317	3	1	7	122	135
4月	119	140	159	183	141	0	2	9	62	70
5月	207	219	224	248	285	0	2	22	108	94
6月	235	264	270	326	315	0	0	34	132	147
7月	218	291	281	292	297	0	3	36	106	152
8月	163	196	241	241	311	0	0	39	99	112
9月	321	338	368	364	416	0	1	82	185	214
10月	339	393	354	392	426	2	7	107	158	249
11月	372	367	446	410	484	3	7	141	218	269
12月	171	212	229	233	239	3	5	71	85	129
合計	2,847	3,112	3,313	3,433	3,621	222	29	553	1,376	1,702

図表1-10 月別 国際会議の開催件数の構成比 (2015年~2024年)



[図表1-9、1-10] 注：国際会議が月をまたがって開催されている場合、開催日数が多い月に計上した。また、この場合、開催日が前の月と後の月で同数であれば前の月に計上した。

[図表1-10] 注：構成比は四捨五入して小数点1位までを表示しているため、各構成比の合計は必ずしも100にはならない。

6

月別 国際会議の開催状況 ② (外国人参加者数)

－ 7月、10月、11月は2020年以降で初の単月2万人超え －

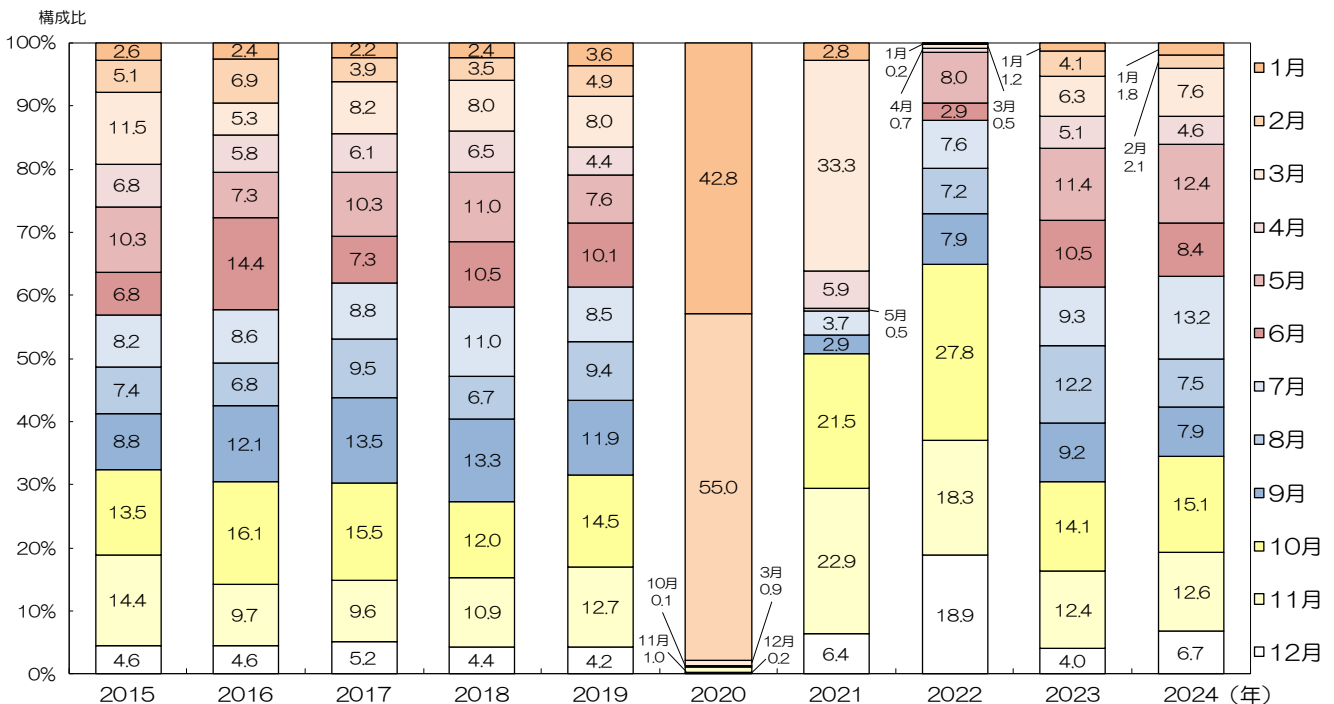
2024年の国際会議の月別の外国人参加者数は、7月、10月、11月には2020年以降で初めて単月で2万人を超え、最多は10月の24,054人、次いで7月の20,975人、11月の20,075人となった。この3か月の外国人参加者数の合計は65,104人で、全体の41.0%を占めた。

月別国際会議の外国人参加者数の構成比を見ると、2024年の5月、7月、12月は2019年以前と比較して比率が高くなっている一方、1月、2月、9月の比率の低下がやや大きい。全体的に構成比は2019年以前とほぼ同様となっている。

図表1-11 月別 国際会議の外国人参加者数 (2015年～2024年)

	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年
1月	4,560	5,242	4,094	4,957	7,745	2,828	21	52	1,559	2,910
2月	8,886	15,004	7,288	7,375	10,398	3,633	0	12	5,352	3,292
3月	20,174	11,399	15,360	16,757	17,131	57	250	176	8,131	12,083
4月	11,968	12,458	11,368	13,619	9,376	0	44	245	6,570	7,297
5月	18,052	15,842	19,179	23,038	16,285	0	4	2,688	14,804	19,713
6月	11,944	31,085	13,653	21,982	21,627	0	0	974	13,632	13,312
7月	14,410	18,515	16,424	22,963	18,194	0	28	2,577	12,048	20,975
8月	12,873	14,660	17,702	13,961	20,055	0	0	2,436	15,782	11,981
9月	15,331	26,116	25,175	27,839	25,455	0	22	2,686	11,960	12,545
10月	23,646	34,812	28,846	25,078	30,967	7	161	9,403	18,281	24,054
11月	25,148	21,055	17,932	22,861	27,116	67	172	6,169	16,027	20,075
12月	8,041	9,834	9,627	9,167	9,045	11	48	6,369	5,227	10,697
合計	175,033	216,022	186,648	209,597	213,394	6,603	750	33,787	129,373	158,934

図表1-12 月別 国際会議の外国人参加者数の構成比 (2015年～2024年)



[図表1-11、1-12] 注：会議以外の要素が含まれている国際会議（展示会主体の併設会議など）に関しては、会議部分の参加者数を計上している。
注：国際会議が月をまたがって開催されている場合、開催日数が多い月に計上した。また、この場合、開催日が前の月と後の月で同数であれば前の月に計上した。

[図表1-12] 注：構成比は四捨五入して小数点1位までを表示しているため、各構成比の合計は必ずしも100にはならない。

7

都市別 国際会議の開催状況 (外国人参加者数、参加者総数、開催件数)

— 東京 (23区) における外国人参加者数は2019年超え —

2024年の都市別外国人参加者数は東京 (23区) (51,724 (135,778人)、福岡市 (115,413人) で10万人を超えた。また、外国人参加者数上位10都市の中では、東京 (23区) (27.1%) で外国人参加比率が3割近い数字となった他、都市別の開催件数では30件以上開催の都市が12都市であった。(都市別の参加者数詳細は「資料編1」参照)

図表1-13 都市別 国際会議の開催状況 (2019年、2022年~2024年) (2024年の外国人参加者数上位10都市を抜粋)

開催都市	2019年		2022年		2023年		2024年		2024年 外国人参加比率 (%)
	外国人 参加者数	参加者 総数	外国人 参加者数	参加者 総数	外国人 参加者数	参加者 総数	外国人 参加者数	参加者 総数	
東京 (23区)	42,398	308,276	8,174	62,196	34,235	158,567	51,724	190,869	27.1%
京都市	30,585	190,834	7,747	37,293	20,641	105,137	22,131	135,778	16.3%
横浜市	27,919	303,767	2,434	54,558	11,191	171,233	17,711	213,544	8.3%
福岡市	11,590	119,340	1,324	40,222	6,114	88,363	9,161	115,413	7.9%
大阪市	11,060	149,117	1,108	2,945	4,995	26,776	6,343	55,569	11.4%
神戸市	15,641	158,094	1,399	18,960	4,741	90,739	4,948	81,570	6.1%
札幌市	8,218	51,090	1,343	13,023	4,800	39,402	4,859	46,665	10.4%
名古屋市	9,646	192,416	999	10,544	4,625	47,588	4,657	56,633	8.2%
広島市	6,642	43,051	288	5,768	4,451	29,753	3,218	24,044	13.4%
仙台市	4,582	69,227	865	9,454	4,124	38,109	3,160	39,521	8.0%

図表1-14 都市別 国際会議の開催件数 (2015年~2024年) (2024年の開催件数30件以上を抜粋)

	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年
東京 (23区)	557	574	608	645	561	63	3	134	311	351
京都市	218	278	306	348	383	26	4	70	172	215
福岡市	363	383	296	293	313	15	0	33	79	131
横浜市	190	188	176	156	277	9	13	44	98	103
大阪市	139	180	139	152	204	9	0	11	45	89
名古屋市	178	200	183	202	252	9	0	21	62	87
仙台市	221	115	120	116	136	10	1	23	60	76
神戸市	113	260	405	419	438	23	1	19	54	63
北九州市	86	105	134	133	150	6	2	10	45	50
札幌市	107	115	116	109	102	2	0	23	43	47
広島市	59	76	87	74	72	2	0	12	30	41
つくば地区 (注)	53	50	47	42	54	4	0	11	46	40

[図表1-13] 注: 1つの国際会議が複数の都市にまたがって開催された場合、参加者数 (外国人参加者数、参加者総数) は原則的に各都市で参加した人数を計上している。

[図表1-14] 注: 1つの国際会議が複数の都市にまたがって開催された場合、開催件数は各都市で1件ずつ計上している。

注: 「つくば地区」は、つくば市、土浦市を含む。

8

会場別 国際会議の開催状況 (開催件数、参加者数)

ー 開催件数では京都大学、参加者総数ではパシフィコ横浜が2年連続最多 ー

2024年の会場別開催件数は京都大学が94件で前年に引き続き最多となり、パシフィコ横浜(64件)、東北大学(48件)と続いた。大学では、計12大学で10件以上の国際会議が開催された。国際会議場では、パシフィコ横浜で64件の他、国立京都国際会館で33件、つくば国際会議場で28件、大阪府立国際

会議場で27件の国際会議が開催された。参加者総数ではパシフィコ横浜が約19.8万人で2年連続で最多となった。外国人参加者数ではパシフィコ横浜及び国立京都国際会館が1万人を超えた。開催件数10件以上の会場において、1件当たりの平均外国人参加者数は東京ビッグサイト(588人)が最多であった。

図表1-15 会場別 国際会議の開催件数、参加者数(2024年) (開催件数10件以上の会場)

会場名	開催件数	参加者総数	外国人参加者数	外国人比率(%)	1件当たりの平均参加者総数	1件当たりの平均外国人参加者数
京都大学	94	16,097	4,074	25.3	171	43
パシフィコ横浜	64	197,977	16,709	8.4	3,093	261
東北大学	48	21,085	1,859	8.8	439	39
九州大学	43	8,650	1,449	16.8	201	34
名古屋大学	40	7,714	1,128	14.6	193	28
早稲田大学	34	4,363	1,817	41.6	128	53
国立京都国際会館	33	85,306	11,700	13.7	2,585	355
東京大学	30	5,822	2,409	41.4	194	80
つくば国際会議場	28	8,276	1,684	20.3	296	60
大阪府立国際会議場	27	39,593	1,848	4.7	1,466	68
福岡国際会議場	25	75,225	2,490	3.3	3,009	100
神戸国際会議場	25	70,853	1,517	2.1	2,834	61
北海道大学	25	10,909	1,104	10.1	436	44
北九州国際会議場	24	7,409	1,659	22.4	309	69
大阪大学	23	3,297	1,189	36.1	143	52
仙台国際センター	21	29,326	1,258	4.3	1,396	60
広島国際会議場	20	11,388	2,245	19.7	569	112
沖縄科学技術大学院大学(OIST)	20	2,914	1,246	42.8	146	62
幕張メッセ	17	77,922	1,676	2.2	4,584	99
東京国際フォーラム	14	44,867	8,112	18.1	3,205	579
東京国際交流館プラザ平成	14	5,234	1,406	26.9	374	100
慶應義塾大学	13	6,103	536	8.8	469	41
神戸大学	13	1,647	435	26.4	127	33
理化学研究所	13	1,339	402	30.0	103	31
笹川平和財団ビル	13	1,626	340	20.9	125	26
神戸ポートピアホテル	12	51,038	2,891	5.7	4,253	241
日本科学未来館	12	2,306	965	41.8	192	80
東京ビッグサイト	11	43,923	6,470	14.7	3,993	588
神戸国際展示場	11	58,930	1,972	3.3	5,357	179
マリノメッセ福岡	11	54,335	1,794	3.3	4,940	163
京都リサーチパーク	11	1,596	597	37.4	145	54
タワーホール船堀	11	7,243	261	3.6	658	24
札幌コンベンションセンター	10	16,040	2,168	13.5	1,604	217
ウイंकあいち	10	7,590	848	11.2	759	85
アクロス福岡	10	3,712	614	16.5	371	61
アジア開発銀行研究所	10	878	341	38.8	88	34
同志社大学	10	1,482	305	20.6	148	31

注1：本表では、複数会場を利用して開かれた同一会議は、会場をベースに集計してある。

注2：本表では、大学等の付属施設は大学での開催件数に含めている。また、複数都市にキャンパスがまたがる場合は、まとめて計上している。

注3：会議以外の要素が含まれている国際会議(展示会主体の併設会議など)に関しては、会議部分の参加者数を計上している。

注4：会場名は2025年11月末時点の名称を記載している。